

水口小同窓生が市役所 水口庁舎前花壇に花植え

平成6年度に水口小学校を卒業した14名の皆さんが、市役所水口庁舎の前の花壇に花を植えていただきました。
花植えを思い付かれた同窓会幹事の西野智樹さんは、「せっかく集まるのだから何かできないか」と考えていたところ、恩師(虫生野在住)が市役所水口庁舎前の花壇の手入れをボランティアでされていることを知り、手伝いたいと申し入れ実現しました。
この日は、ひまわりとアジサイの苗とふるさとへの感謝を込め平和を願って、その象徴であるオリブの木を植えられました。今年30歳になる卒業生たちは、久振りの再会を喜び合いながらきれいな花壇に仕上げてくださいました。

同窓会でボランティア



▲花植えを手伝う水口小同窓生の皆さん

カヌー体験で自然とふれあう

第二小学校新田学習

5月16日に甲南町杉谷にある岩尾池で第二小学校4年生20名が新田学習の一環でカヌー体験に挑戦しました。



▲カヌー体験を楽しむ児童

地域の自然学習を目的に10年ほど前から行われている新田学習は、全学年を対象に、地域のボランティアの方が参加して行われ、岩尾池の開拓の歴史や琵琶湖へのつながりなどを学びます。カヌー体験は、二名のインストラクターによる、緊急時対応の説明を受けるなど安全面に十分配慮したうえで行われました。

児童たちは、最初は操作に戸惑いながらも次第に上達し、皆で並列になったり、源流を見に行ったりと新緑が映る水面を自由に漕ぎ進んでいました。「おもしろかった!」「水が冷たかった」など、体験を楽しみながらも身の回りにある豊かな自然を体感していました。



▲新茶を味わう児童

給食に地元産のお茶

市内18の小学校で5月25日、市の事業のひとつ甲賀市産の茶の提供が始まり、児童たちは給食の時間に新茶を味わいました。
PETボトルのお茶が広く浸透するようになりましたが、お茶は急須から注がれるリーフ茶の風味が一番です。市は近江茶の主産地であり、子どもたちにもリーフ茶を親しんでもらうため、5月から市内全小学校を対象に行われるものです。
甲南第一小学校一年生の児童たちは、茶葉の説明を受けた後、おいしそうにお茶を味わっていました。
今後、季節にあった違う種類のお茶が提供され、「お茶の淹れ方教室」も開催される予定です。

世界にひとつの宝物づくり

雲井小学校児童が陶芸体験

6月2日、信楽町陶芸の森で雲井小学校の児童が陶芸体験をしました。同小学校では、地域の特徴を活かして、全学年が年に一度陶芸体験をしており、最近では県のイベントを学習に取り入れているということです。

「世界にひとつの宝物」として、一年生は土鈴、二年生は土面、三年生は置物の「幸せまんがくタヌキ」の作成に挑戦しました。

二年生23名は、土面を作る前に顔の文様があるパプアニューギニアの土器を紹介され、その伝説などに興味深そうに聞きっていました。

児童たちは、色を塗り分けたり、立体的な目や鼻をくっつけたり、ユニークな表情の土面を作っていました。



▲土面を作る児童

社員ボランティアによる 森づくり活動がスタート

土山町エコーバレイ青土地内「トヨタ紡織グループ『環境の森』青土」で6月5日、代表者による看板除幕や植樹などの記念式典が行われました。その後、同事業所の社員と家族によるボランティア約40名が森づくり活動に参加し、森林作業道の整備に汗を流しました。

この式典は、今年1月に、トヨタ紡織滋賀株式会社と土山山林財産区管理会との間で、琵琶湖の水を守る森林整備事業「琵琶湖森林づくりパートナー協定」が結ばれ、その活動開始を記念して行われたものです。

今後、地域の方と共同で間伐、下草刈り、植林などの森づくり活動が継続されるほか、様々な催しを通じて地域交流を深められるということです。

「トヨタ紡織グループ『環境の森』青土」 森づくり記念式典



▲森林作業道の整備をするボランティアの皆さん

甲賀市から日本を盛り上げたい

5月25日、忍の里プララ多目的ホールで甲賀市新就職者激励会が開催され、56社から186人が参加しました。

中嶋市長はあいさつの中で、市内企業の現状に触れながら「甲賀市が元気であり続けるため、各事業所の欠かせない人材として一日も早く活躍してくれることを期待しています。」と



激励し、新就職者を代表して塩野義製薬株式会社の香田健さんは「東日本にエールを送るためにも、持てる力を存分に発揮し、ここ甲賀市から日本を盛り上げていきたいと思えます。」と力強く抱負を述べました。

その後の人権研修では、市人権推進課の辻好明さんのギター弾き語りによる「人権ライブ」が行われ、参加者は、社会人として欠かせない人権意識を真剣に学んでいました。

2011年度新就職者激励会



「人権ライブ」